

# 町並みガイド



団体名	TEL	料金	案内地域
ボランティアあらかしの会	0972-63-1894	無料	・町並み散策エリア
うすきタウン ツーリズム研究会	0972-62-8138 (FAX兼用) 080-3184-5561	有料	・臼杵城下町観光ガイド ・古地図で町並みのご案内
うすき町並みガイドの会	0972-63-7898	有料	・町並み散策エリア
ツーリズムうすき	080-6476-4841	有料	・臼杵城下町並みガイド
臼杵石仏 ボランティアガイドの会	0972-65-3300 (石仏事務所)	無料	・臼杵石仏

※ガイドさんの説明を聞きながら一緒に散策もできます！  
詳しくは上記の番号へお問い合わせください♪

野上弥生子は、明治18年(1885年)臼杵市の酒造業の代屋(現小手川酒造)二代目小手川角三郎とマサの長女として生まれました。

幼少期は、自家の周辺で郷土色豊かに過ごしました。15歳で勉学のため上京し、明治女学院に入学し、卒業後21歳で同郷の野上豊一郎と結婚しました。

夏目漱石を師とする夫の文学的環境の中で小説を書き始め、文学者としての道を歩きだしたのです。以後、99歳まで現役作家として、「海神丸」「真知子」「迷路」など多数の作品を発表しました。

昭和39年に「秀吉と利休」で女流文学賞を受賞し、昭和46年には文化勲章を受章しました。

昭和47年に87歳で長編「森」の執筆にとりかかりましたが、最終章をわずかに残して昭和60年ご逝去されました。

また、昭和53年9月には臼杵市名誉市民第1号となっています。



野上弥生子文学記念館 TEL0972-63-4803  
大人(高校生以上)..... 300円  
小人(小中学生)..... 150円  
※20人以上から団体割引があります。開館時間 9:30~17:00

# 各施設料金表



施設名	TEL	料金
臼杵市歴史資料館(火曜日休館)	0972-62-2882	大人(高校生以上) 320円 小人(小・中学生) 160円
旧臼杵藩主稲葉家下屋敷	0972-62-3399	大人(高校生以上) 320円 小人(小・中学生) 160円
野上弥生子文学記念館	0972-63-4803	大人(高校生以上) 300円 小人(小・中学生) 150円
吉丸一昌文学記念館「早春賦の館」	0972-63-7999	大人(高校生以上) 210円 小人(小・中学生) 110円
国宝 臼杵石仏	0972-65-3300	大人(高校生以上) 540円 小人(小・中学生) 260円
ヤマコ臼杵美術博物館	0972-65-3080	大人(高校生以上) 400円 小人(小・中学生) 200円
風連鍾乳洞	0974-32-2547	大人(高校生以上) 1,000円 小人(小・中学生) 700円

お得な共通券あります!

2施設共通券	国宝臼杵石仏、ヤマコ臼杵美術博物館	大人(高校生以上) 710円 小人(小中学生) 400円
4施設共通券	国宝臼杵石仏、旧臼杵藩主稲葉家下屋敷、野上弥生子文学記念館、吉丸一昌記念館	大人(高校生以上) 1,100円 小人(小中学生) 540円



お問い合わせ先

臼杵市観光交流プラザ TEL.0972-63-1715 FAX.0972-64-7117  
イイナイコウ

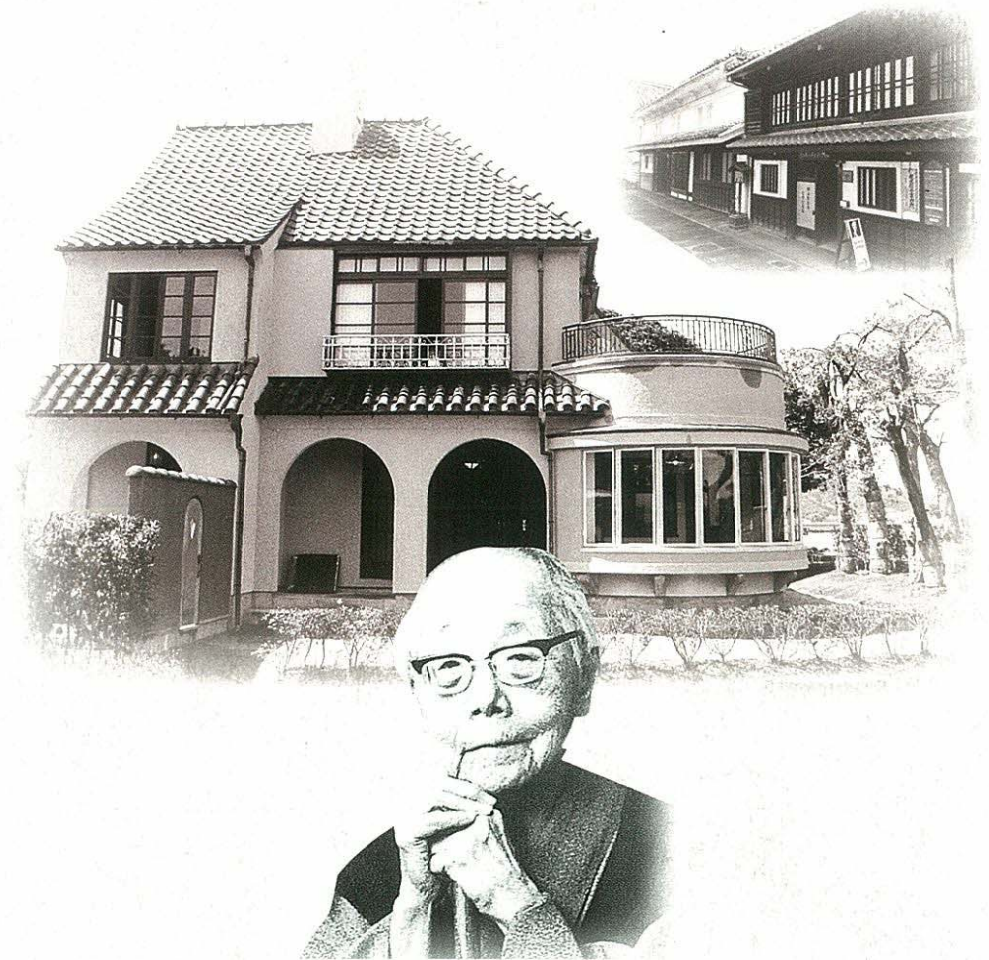
# 野上弥生子の文学に親しむコース



距離:3.0km 所要時間:1時間30分 消費カロリー:37kcal

# うすきあるきMAP

城下町臼杵の主要観光スポットを詰め込んだ定番コースです。初めて臼杵を訪れる方や、お友達に紹介するのにオススメです。アップダウンも少なく比較的ラクに歩けます。



うすきあるきとは?

マップを片手に自分のペースで好奇心のおもむくままに色々なところで立ち止まりながら臼杵の町歩きを楽しめるコースです。



ゆっくり、ゆったり臼杵時間



### ① 野上弥生子文学碑



白杵城は1556年頃、大友宗麟が丹生島に築いた城です。野上弥生子先生の功績を讃え、昭和61年4月に白杵城址に小説「迷路」の一説を刻んだ文学碑が建てられました。

### ② 野上弥生子成城の家



昭和23年に東京都世田谷区成城に自宅を購入。昭和60年に亡くなるまでこの家と北軽井沢大学村で暮らしました。この家は平成元年にこの地に移築されました。現在は屋内見学はできませんが外からはご覧頂けます。

### ③ 野上弥生子文学記念館



文化勲章受章者で、99歳で亡くなるまで、作家として末広りの活躍をされた野上弥生子の生家です。記念館には夏目漱石や芥川龍之介との親交が深かった弥生子の遺品や自筆原稿約200点あまりが展示されています。

入館料：大人300円 小人150円

### ④ 小手川酒造株式会社



明治18年5月6日に酒、味噌、醤油を営む代屋(現小手川酒造)の長女に生まれ、15歳で上京するまでここで過ごしました。創業安政2年(1855年)で「長久」「宗麟」「白寿」「ひとつぶの真珠」等はとても縁の深い銘柄です。

### ⑤ 二王座歴史の道



大友宗麟時代から街道筋として役割を果たした道です。江戸時代には、武家住宅と寺院とが混在する景観をつくり出していました。この地区は白杵を代表する景観の一つで、平成5年には国の都市景観100選に選ばれました。また、白杵の歴史と文化を伝える「歩く歴史博物館」ともいわれています。二王座は約9万年前の阿蘇噴火で形成された阿蘇溶結凝灰岩の丘です。街道筋を確保するため、あちこちに凝灰岩を切り割ってつくられた「切通し」の道があります。旧真光寺は、休憩所として観光客の皆様にご利用して頂いています。

